第６章　地区別（中学校区別）地域福祉活動プラン

浦添市では、５つの中学校区ごとに、中学校区コミュニティづくり推進委員会を設置しており、自治会や地域の相談員や事業所などを中心としたメンバーで、地域に必要な取り組みや活動が展開されています。

さらに各中学校区コミュニティづくり推進委員会では、地域の状況を踏まえ、より住みよい地域をめざすため、地域福祉推進の方向性や取り組みを検討し、プランにまとめました。

本章では、今後、各地区で住民や地域関係団体などが主体となって展開される目標や取り組みを紹介します。

コラム：中学校区コミュニティづくり推進委員会

浦添市の５つの中学校区では、福祉・保健・医療・教育等の視点から地域の支え合い活動の推進について協議することを目的に、コミュニティづくり推進委員会を設置しています。メンバーは中学校区内自治会長、民生委員・児童委員、校区内福祉・保健・医療・教育等関係者及びボランティア等 25 名以内で構成されており、中学校区における総合的な相談支援体制や地域包括ケア支援体制に関すること、地域福祉活動を担う人材養成に関することなどが話し合われています。

避難訓練を行い、住民同士の声かけや助け合うことの大切さを学んでいる地域もみられます。

1 浦添中学校区

テーマ

「こどもの頃から育もう！思いやりでつながる地域のきずな」

地域課題

1．個人情報の保護との兼ね合いで、関係機関との支援連携がしづらい
2．災害時など要援護者支援制度の理解・周知が弱い
3．地域のつながりの希薄化・自治会加入者の減少（担い手不足）
4．地域住民の高齢化、若い世代の自治会離れ（自治会加入率が低い）
5．地域への興味関心が薄く、地域行事への参加者が少ない
6．子育て世代への支援が弱く、子どもの居場所が少ない

具体的な取り組み

1．地域住民が共に考え、共に学ぶまちづくり

自分たちが住む地域の歴史や文化、環境や現状などを知るために、地域行事やイベントに参加しましょう。地域の良さや課題に意識を持ち、今後の地域について考える機会を持ちましょう。

【5年後のめざす姿】 多くの住民が、自ら地域を意識できるまちになる

2．住む人みんなで創るまちづくり

自分の地域を知り、普段の暮らしの中で気になること、自治会加入や地域行事、若者の地域活動離れについて、隣近所や自治会、サークルなどで話し合いましょう。できることに取り組み、解決しがたい気になることは自治会や民生委員・児童委員、専門機関へ相談しましょう。

【5年後のめざす姿】 地域住民が地域課題を解決できる仕組みが整ったまちになる

3．地域の誰もが住みやすいまちづくり

同じ地域に住む住民同士が、普段からのあいさつを通して顔の見える関係をつくり、隣近所で気になることがあれば、気にかけ、必要に応じて地域の自治会や民生委員・児童委員、専門機関へ伝えましょう。

【5年後のめざす姿】 顔の見える関係ができ、地域や相談機関と連携が整うまちになる

《圏域の現状》

・人口	20,174 人
・世帯数	8,532 世帯
・0 歳～14 歳の割合	3,593 人　17.8%
・15 歳～64 歳の割合	12,454 人　61.7%
・65 歳以上の割合	4,127 人　20.5%
・民生委員・児童委員 定数／委嘱数	※平成 30 年9月 1 日現在 29 名／28 名（2） ※（ ）主任児童委員
・自治会数・加入率	10 自治会　24.7%

※平成 30 年9月末現在

《中学校区内に立地する主な社会資源》注）地域限定ではなく、市内外の方が利用する資源も掲載

★中学校区地域保健福祉センター

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦添中学校区地域保健福祉センター	仲間2-47-5 (うらそえぐすく児童センター2階)	874-3878

■公的施設

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦添市役所	安波茶1-1-1	876-1234
2	浦添市立図書館	安波茶2-2-1	876-4946
3	浦添市美術館	仲間1-9-2	879-3219
4	浦添市保健相談センター	仲間1-8-1	875-2100
5	浦添市市民協働・男女共同参画 ハーモニーセンター	安波茶2-3-5	874-5711
6	浦添市立教育研究所	仲間2-47-3	876-7522
7	浦添市てだこホール	仲間1-9-3	942-4360
8	ANA SPORTS PARK 浦添(浦添運動公園)	仲間1-13-1	876-7322
9	ANA まじゅんらんど 浦添 (温水プールまじゅんらんど)	仲間1-13-1	942-4132
10	浦添市中央公民館	安波茶1-1-2	879-5503
11	浦添市老人福祉センター	安波茶1-1-2	879-5501
12	浦添市福祉プラザ	仲間1-1-2	874-4932
13	経塚ゆいまーるセンター	経塚1-17-1	876-4100
14	浦添市社会福祉センター	仲間1-10-7	877-8226
15	浦添市シルバー人材センター	仲間1-10-7 (社会福祉センター内)	875-1701
16	浦添市民生委員児童委員連絡協議会	仲間1-10-7 (社会福祉センター内)	877-8278

▲小学校

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦添小学校	仲間2-47-1	877-2064
2	前田小学校	前田333	879-1947

△中学校

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦添中学校	仲間2-46-1	877-2066

◆自治会・集会所

番号	名称	所在地
1	仲間自治会	仲間2-35-2
2	安波茶自治会	安波茶2-7-1
3	経塚自治会	経塚1-17-1
4	前田自治会	前田1-28-7
5	茶山自治会	仲間3-4-1
6	浦添ニュータウン自治会	安波茶1-13-9
7	浦添グリーンハイツ自治会	前田862-219
8	前田公務員宿舎自治会	前田1-55-19-104号
9	浦添ハイツ自治会	仲間1-17-8
10	県営経塚団地自治会	字経塚560

☆地域包括支援センター

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦添市地域包括支援センターさっとん	仲間1-2-2　コーポ西原103号	877-3103

障害者相談支援事業所

番号	名称	所在地	連絡先
1	ピアサポートセンターほると	仲間1-1-2　福祉プラザ内	879-7565
2	地域生活支援センター「Enjoy」	前田1004-9	877-0552
3	相談支援事業所ゆんたく	経塚633　3階	870-4789

地域活動支援センター

番号	名称	所在地	連絡先
1	Ⅲ型　あおぞら作業所	仲間1-1-2　福祉プラザ2階	874-4116

◇地域子育て支援拠点事業

番号	名称	所在地
1	子育て支援センター　柿の実ひろば	前田1-11-17 柿の実保育園3階
2	つどいの広場　あいあい	経塚1-17-1 経塚児童センター内

○児童厚生施設（児童センター）

番号	名称	所在地	連絡先
1	経塚児童センター	経塚1-17-1	876-4100
2	うらそえぐすく児童センター	仲間2-47-5	874-0417
3	前田ユブシが丘児童センター	前田323番地	871-1558

■浦添中学校区地域福祉活動計画【2019 年～2023 年】

～ 浦添中学校区テーマ ～
こどもの頃から育もう！
思いやりでつながる
地域のきずな

地域から出た浦添中学校区の課題

1. 個人情報の保護との兼ね合いで、関係機関との支援連携がしづらい。
2. 災害時など要援護者支援制度の理解・周知が弱い。
3. 地域のつながりの希薄化・自治会加入者の減少（担い手不足）。
4. 地域住民の高齢化、若い世代の自治会離れ（自治会加入率が低い）
5. 地域への興味関心が薄く、地域行事への参加者が少ない。
6. 子育て世代への支援が弱く、子どもの居場所が少ない。

(1) 地域住民が共に考え、共に学ぶまちづくり
(2) 住む人みんなで創るまちづくり
(3) 地域の誰もが住みやすいまちづくり

	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5年目	
	2019 年度	2020 年度	2021年度	2022 年度	2023 年度	
地域住民が共に考え共に学ぶまちづくり		年間 2 行政区の懇談会	行政区ボランティア意識調査・養成	① 地域住民が共に気づき、課題を共有し福祉の心を学ぶ福祉共育の充実 ② 次世代を担う世代を大切に育てる仕組みづくり（若い世代を地域へ関わる仕組み） ③ 個別ニーズを元にしたボランティアの養成	多くの住民が、自ら地域を意識できるまちになる	
住む人みんなで創るまちづくり		災害時要援護者支援会議継続実施	支援の必要な内容に沿った専門部会の立ち上げ	① 地域ニーズ（調査）に基づいた社会資源の開発（発掘・養成） ② 行政区コミュニティづくり推進委員会の充実（立ち上げ） ③ 地域課題解決に向けた仕組みづくり（専門部会立上げ）	地域住民が地域課題を解決できる仕組みが整ったまちになる	
地域の誰もが住みやすいまちづくり		地域相談対応の継続	中学校区地域見守り協力企業の啓蒙・発掘・要請	行政区・地域関係機関協働福祉体験プログラム	① 地域で困っている方を支援できる仕組み（連携）づくり（個人情報の在り方） ② 子ども、高齢者、障がいを持っている方に優しいまちづくり（関わり方や環境） ③「災害時等要援護者支援制度」の説明・周知・理解の推進	顔の見える関係ができ、地域や相談機関が整うまちになる

浦添中学校区コミュニティづくり推進委員会で出た課題

◎地域のつながりの希薄化　◎若い世代の自治会離れ
◎住民の地域活動への関心が薄い　◎地域の防災体制づくり
◎高齢化　◎災害時等要援護者や地域で困っている方の支援
◎関係機関の連携不足　◎地域住民の居場所づくり
◎地域ボランティアの人材育成　◎子育て世代への支援

(1)地域防災体制づくり
災害・事件・事故に備えた地域防災体制づくり
(2)要援護者支援
災害時等要援護者や地域で困っている方への支援、見守り強化
(3)地域ボランティアの育成
ボランティア人材育成及び活動の促進、地域の絆づくり

※第五次浦添市地域福祉活動計画「てだこハートフルプラン」18ページ、19ページより抜粋

	1年目	2年目	3年目	4年目	1年目
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
(1)地域防災体制づくり			地域福祉防災体制イベント開催		浦添中学校区地域福祉活動計画【2019年～2023年】
(2)要援護者支援	地域支援会議にて災害時要援護者避難制度の説明・周知活動		自治会にて認知症講話開催	児童センター・学童・地域包括支援センター協働で福祉教室開催	
(3)地域ボランティアの育成	浦添中学校区支援ボランティアゆんたく会研修会開催及び人材育成・確保 中学生ボランティアによる高齢者宅清掃 地域福祉協力員定例会にて研修会開催		地域福祉防災体制イベントにてボランティア養成		

2 仲西中学校区

テーマ

「(な)仲間が集い (か)会話がとびかう
(に)ニコニコ安心 (し)幸せいっぱいのまち仲西中学校区」

地域課題

1．地域のつながりの希薄化
2．自治会加入率が低い
3．地域協力者の高齢化、人材不足
4．継続した地域防災体制づくりが必要
5．坂道が多く、歩行不安定な方は公民館に行けない
6．総合相談支援体制の整備が必要

具体的な取り組み

1．日ごろのつながりが安心・安全につながるまちづくり

隣近所や地域の方とあいさつ・声かけできる関係性を築き、各自治会で行われているふれあいサロン活動などへ参加しましょう。防災に関する勉強会、安全マップづくり、避難訓練などに参加し、防災について意識を高めましょう。

【５年後のめざす姿】 住民同士がつながり合い、災害に強いまちになる

2．美ら心あふれるやさしいまちづくり

地域や学校の福祉学習に参加し、ほんの少しの「目配り・気配り・心配り」ができる地域を目指しましょう。「支援する人」「支援される人」ではなく、お互いさまの気持ちを育んでいきましょう。

【５年後のめざす姿】 「お互いさま」の気持ちで助け合えるまちになる

3．地域の和、共に助け合うまちづくり

地域住民や企業、事業所などは、普段の生活の中で支援が必要な方に気づいたら、民生委員・児童委員や自治会、相談窓口などに相談し、「発見・つなぐ・見守る」しくみづくりに協力しましょう。

【５年後のめざす姿】 困っている人ひとりも見逃さないまちになる

《圏域の現状》

・人口	31,776 人
・世帯数	14,462 世帯
・0 歳～14 歳の割合	5,418 人　17.1%
・15 歳～64 歳の割合	20,353 人　64.1%
・65 歳以上の割合	6,005 人　18.9%
・民生委員・児童委員 定数／委嘱数	※平成 30 年9月 1 日現在 32 名／23 名（2） ※（ ）主任児童委員
・自治会数・加入率	6自治会　15.5%

※平成 30 年9月末現在

《中学校区内に立地する主な社会資源》注）地域限定ではなく、市内外の方が利用する資源も掲載

★中学校区地域保健福祉センター

番号	名称	所在地	連絡先
1	仲西中学校区　地域保健福祉センター	宮城3-7-3-1（みやぎ希望の森 コミュニティセンター1階）	988－8147

■公的施設

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦添市立母子生活支援施設浦和寮	屋富祖2丁目5−14	877-8051
2	浦添市身体障がい者福祉協会	宮城4-11-1	879-7565

▲小学校

番号	名称	所在地	連絡先
1	仲西小学校	屋富祖2-32-1	877-2067
2	浦城小学校	伊祖2-13-1	877-3335
3	宮城小学校	宮城3-7-3	879-5312

△中学校

番号	名称	所在地	連絡先
1	仲西中学校	屋富祖2-13-1	877-2070

◆自治会・集会所

番号	名称	所在地
1	城間自治会	城間1-9-1
2	屋富祖自治会	屋富祖3-1-1
3	宮城自治会	宮城2-22-3
4	仲西自治会	仲西1-3-11
5	大平自治会	大平1-15-5
6	浅野浦自治会	伊祖1-25-2

☆地域包括支援センター

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦添市地域包括支援センター「仁」	城間1-37-1	917-2268

❤‍🩹障害者相談支援事業所

番号	名称	所在地	連絡先
1	生活支援センターあおぞら	大平1-23-13　2階	879-6644

❤地域活動支援センター

番号	名称	所在地	連絡先
1	Ⅰ型　生活支援センターあおぞら	大平1-23-13　2階	879-6644

♡障害者教養文化体育施設

番号	名称	所在地	連絡先
1	サン・アビリティーズうらそえ	宮城4-11-1	876-3477

◇地域子育て支援拠点事業

番号	名称	所在地	連絡先
1	つどいの広場　さんさん	宮城2-4-1　宮城ヶ原児童センター2階	

○児童厚生施設（児童センター）

番号	名称	所在地	連絡先
1	宮城ヶ児童センター	宮城2-4-1	876-1895
2	浦城っ子児童センター	伊祖2-13-2	878-6815
3	宮城っ子児童センター	宮城3-7-3-1	870-0227

■仲西中学校区地域福祉活動計画【2019 年～2023 年】

～仲西中学校区テーマ～

- な 仲間が集い
- か 会話がとびかう
- に ニコニコ安心
- し 幸せいっぱいのまち仲西中学校区

地域から出た仲西中学校区の課題

1. 地域のつながりの希薄化
2. 自治会加入率が低い
3. 地域協力者の高齢化、人材不足
4. 継続した地域防災体制づくりが必要
5. 坂道が多く、歩行不安定な方は公民館に行けない
6. 総合相談支援体制の整備が必要

(1) 日ごろのつながりが安心・安全につながるまちづくり

(2) 美ら心あふれるやさしいまちづくり

(3) 地域の和、共に助け合うまちづくり

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
日頃のつながりが安心・安全につながるまちづくり	① これまでの地域防災体制づくりの取り組みを活かした活動の推進 ② 各自治会地域支援会議の開催・活動推進 （災害時等要援護者や地域で気になる方の見守りネットワーク拡大） ③ 地域にいる誰でも気軽に参加できる居場所づくり（住民を地域活動へつなぎ、見守りネットワークを推進）				住民同士がつながり合い、災害に強いまちになる
美ら心あふれるやさしいまちづくり	① 住民の地域福祉力向上に向けた、気づきや学びの場づくり （子どもたちへの福祉教育、地域での福祉講座の開催） ② ほんの少しの「目配り・気配り・心配り」でつながる、地域のキーパーソンづくり （地域キーパーソン養成講座の開催） ③ 支援する人・される人ではなく、「お互いさま」のボランティアコーディネート				「お互いさま」の気持ちで助け合えるまちになる
地域の和、共に助け合うまちづくり	① 地域で支援が必要な方を「発見・つなぐ・見守る」。中学校区が連携した総合相談支援体制の整備・推進 ② 仲西中学校区コミュニティづくり推進委員会・役員会の開催、活動推進（定期的な情報共有、日頃からの支援連携） ③ 各自治会地域支援会議の開催、活動推進（見守りネットワークの拡大、地域の実情に応じた取り組み）				困っている人ひとりも見逃さないまちになる

参考＜前計画のふりかえり＞

仲西中学校区コミュニティづくり推進委員会で出た課題

◎住民の地域活動への関心が薄い
◎高齢化　◎坂道が多く交通の不便
◎地域の防災体制づくり　◎地域ボランティアの人材不足
◎子どもたちの安全　◎福祉教育

(1) 地域の和、共に助け合うまちづくり
・福祉・保健、医療、教育、企業等と連携し、地域課題解決に向けた取組み

(2) 美ら心あふれるやさしいまちづくり
・地域の高齢者や子どもたちをみんなで見守り
・地域の特性を活かしたこどもから高齢者までの福祉教育（学びや気づきの場づくり）
・支援される人支援する人ではなくお互いに相互扶助していくしくみ

(3) 防災と安心、安全のまちづくり
・安全マップや避難ルートの作成を積極的に取組む
・災害時等で支援が必要な人や困っている人たちを支えるしくみづくり
・「もしものとき」に備え、日頃から声かけをして顔のみえる関係づくり
・美化活動を通し、世代間交流会

※第五次浦添市地域福祉活動計画「てだこハートフルプラン」20ページ、21ページより抜粋

	1年目	2年目	3年目	4年目	1年目
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
(1) 地域の和、共に助け合うまちづくり	○仲西中学校区コミュニティづくり推進委員会・役員会の開催　○各自治会地域支援会議の開催 ○関係機関との情報共有、支援連携　○地域相談窓口の設置（3自治会） ★地域で支援が必要な方の「発見→つなぐ→見守る」地域総合相談支援体制の整備				仲西中学校区地域福祉活動計画【2019年～2023年】
(2) 美ら心あふれるやさしいまちづくり	○地域にいる誰でも、気軽に参加できる居場所づくり（各自治会におけるふれあいサロンやその他公民館活動、交流会の実施） ○閉じこもり気味など、地域で見守りが必要な方を地域活動へつなげ、顔と顔の見える関係性をつくる取り組み ○福祉教育の実施（小学校での福祉体験、校区内児童センターと高齢者施設、障がいを持った方との交流など） ○第2回バリアフリーオリンピック開催 ～楽々介護を知ろう～in 大平特別支援学校				
(3) 防災と安心、安全のまちづくり	○各自治会地域支援会議の開催（災害時等要援護者や支援が必要な方の見守り、情報共有、避難支援体制についての検討）	平成28年度コミュニティづくり推進委員会主催 防災イベントの実施 ① 地域散策・マップづくり ② 防災講演会 ③防災運動会 ③ 避難訓練と避難体験	平成29年度コミュニティづくり推進委員会主催 防災イベントの実施 ① 大平地域避難訓練 ② 避難所宿泊体験		

3 神森中学校区

テーマ

「輪・和・笑でハッピーまちづくり」

地域課題

1．住民同士のつながりの希薄化
2．自治会加入率の低下、住民に対する社会参加への促し不足
3．地域協力者の人材不足、地域資源（人材）の発掘及び整理
4．住んでいる地域に対する愛着づくりの必要性
5．災害時など要援護者支援制度登録者以外の支援が必要な方の見守りや支援体制づくり
6．災害時における住民への防災啓発不足

具体的な取り組み

1．人と人とが繋がり、子どもも大人も高齢者もみんなが輝く住みよいまちづくり

誰とでもあいさつができ、みんなで声をかけあえるまちにしましょう。地域行事や活動にたくさんの方が参加・協力できるよう、方法を考えましょう。地域住民一人ひとりが住みよい地域づくりの一員として、担い手育成の活動に参加しましょう。

【5年後のめざす姿】 住民一人ひとりが地域づくりに関われるまちになる

2．環境整備の行き届いたまち

地域住民一人ひとりが景観のあるまちづくりを心がけ、日頃からゴミや空き缶などを拾い、環境美化活動に積極的に参加しましょう。

【5年後のめざす姿】 地域の文化を大切にでき、誇りを持てるまちになる

3．互いに助け合う、災害に強いまち

隣近所で日頃から声を掛け合える関係を築き、災害時や助けが必要な時には相互に助け合いましょう。住民一人ひとりが日頃から災害時の備えをしましょう。

【5年後のめざす姿】 ひとりも見逃さない「おたがいさま」のまちになる

《圏域の現状》

・人口	24,077 人
・世帯数	10,402 世帯
・0 歳～14 歳の割合	4,180 人　17.4%
・15 歳～64 歳の割合	15,290 人　63.5%
・65 歳以上の割合	4,607 人　19.1%
・民生委員・児童委員 定数／委嘱数	※平成 30 年9月 1 日現在 28 名／26 名（2） ※（ ）主任児童委員
・自治会数・加入率	6 自治会　20.9%

※平成 30 年9月末現在

《中学校区内に立地する主な社会資源》注）地域限定ではなく、市内外の方が利用する資源も掲載

★中学校区地域保健福祉センター

番号	名称	所在地	連絡先
1	神森中学校区　地域保健福祉センター	内間2-18-2(浦添市地域福祉センター内)	878-4569

■公的施設

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦添市地域福祉センター	内間2-18-2	878-1478
2	浦添市産業振興センター・結の街	勢理客4-13-1	870-1123
3	国立劇場おきなわ	勢理客4-14-1	871-3311

▲小学校

番号	名称	所在地	連絡先
1	神森小学校	勢理客1-4-1	877-6380
2	内間小学校	内間4-3-1	877-0369
3	沢岷小学校	沢岷998	879-3238

△中学校

番号	名称	所在地	連絡先
1	神森中学校	内間1-6-1	877-5165

◆自治会・集会所

番号	名称	所在地
1	小湾自治会	宮城6-13-1
2	勢理客自治会	勢理客2-19-20
3	内間自治会	内間3-15-1
4	沢岷自治会	沢岷1-31-1
5	神森自治会	仲西3-11-1　1号棟1階
6	県営沢岷高層住宅自治会	沢岷2-18-1

☆地域包括支援センター

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦添市地域包括支援センター てぃだ	内間4-23-21　2階	870-0150

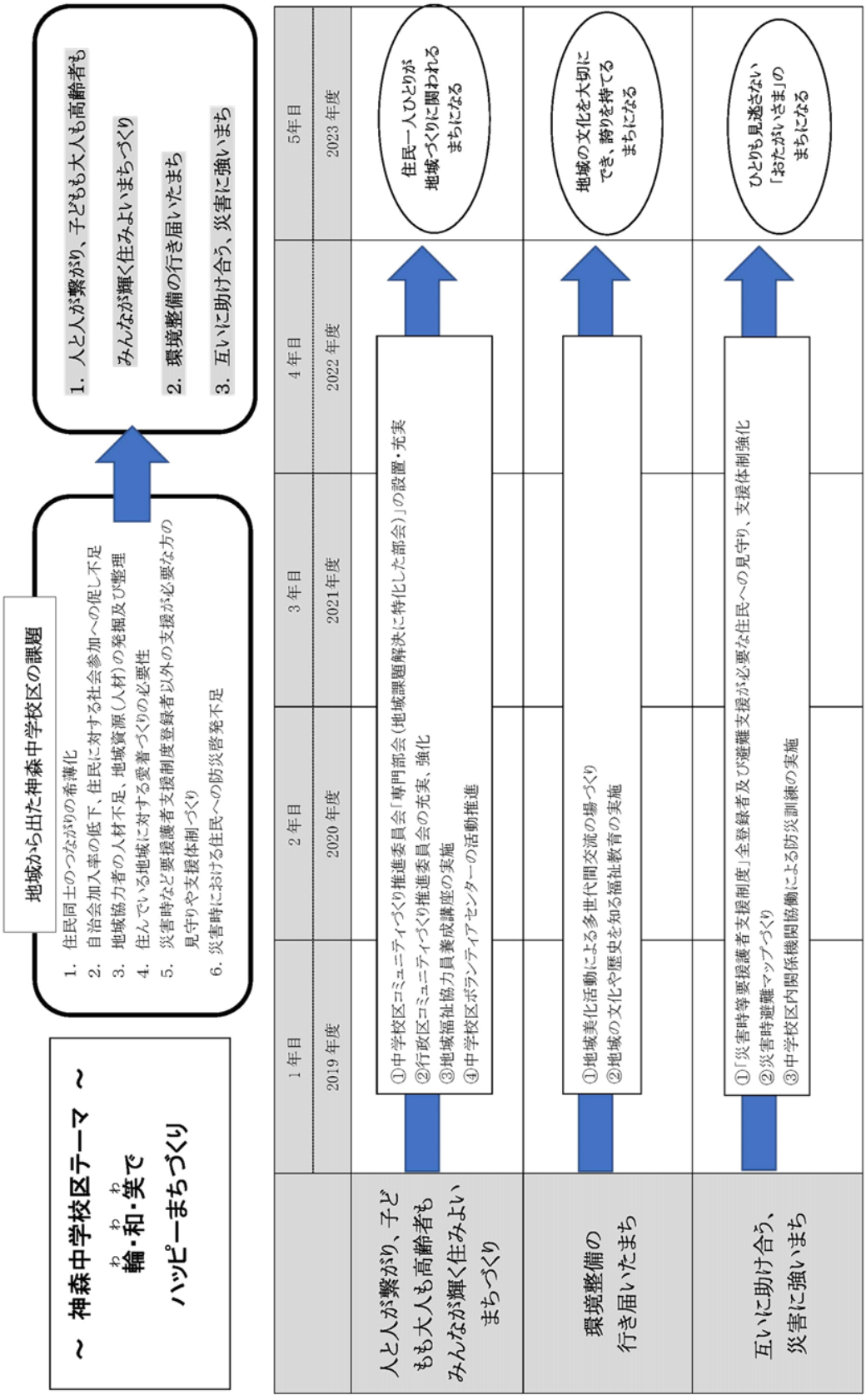
◇地域子育て支援拠点事業

番号	名称	所在地
1	浦添市子育て支援センター てぃんさぐ	内間4-26-20　内間保育所2階

○児童厚生施設（児童センター）

番号	名称	所在地	連絡先
1	内間児童センター	内間3-28-12	876-1502
2	森の子児童センター	勢理客1-4-1	874-7610

■神森中学校区地域福祉活動計画【2019 年～2023 年】



神森中学校区コミュニティづくり推進委員会で出た課題

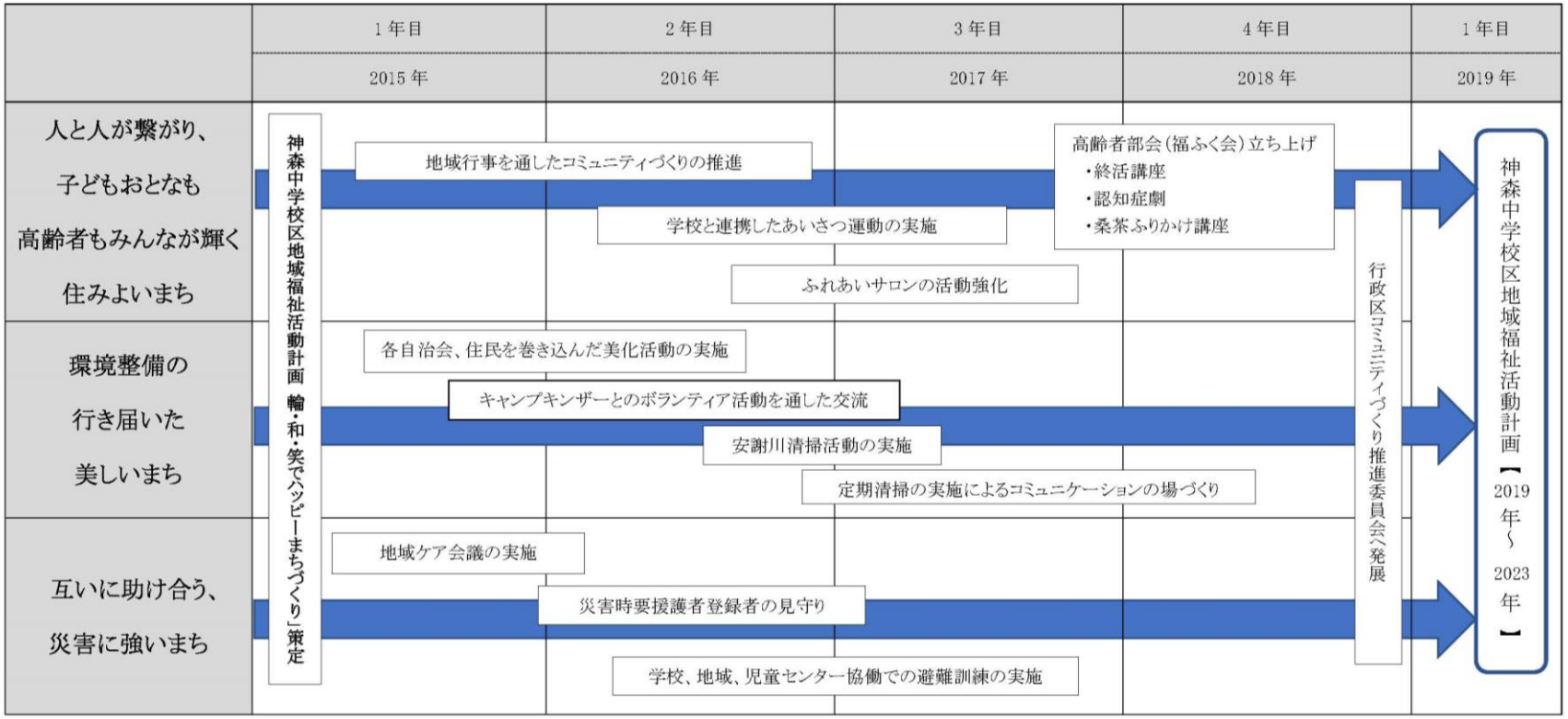
◎子どもからお年寄りまでひとりひとりの「居場所」がある地域にしたい
◎自主防災組織がない　◎隣近所の繋がりが希薄化している
◎放置自転車等、不法投棄が目立つ
◎人と人、各関係機関・団体の連携を更に強めたい

(1)人と人が繋がり、子どももおとなも高齢者もみんなが輝く住みよいまち
・誰とでもあいさつができ、子どもや高齢者に皆で声を掛け合えるまちにしましょう。
・地域の行事や活動にたくさんの方が参加・協力できるよう、方法を考えましょう。

(2)環境整備の行き届いた美しいまち
・ゴミや空き缶があれば住民ひとりひとりが拾うように心がけましょう。
・地域の環境美化活動に積極的に参加しましょう。

(3)互いに助け合う、災害に強いまち
・隣近所で日頃から声を掛け合える関係を築き、災害時や助けが必要な時は相互に助け合いましょう。
・住民ひとりひとりが、日頃から災害時の備えをしましょう。

※第五次浦添市地域福祉活動計画「てだこハートフルプラン」22ページ、23ページより抜粋



4 港川中学校区

テーマ

地域を愛し、地域の人を愛するやさしいまち「港川中学校区」

地域課題

1．マンション・アパートなど集合住宅が多く、地域のつながりが希薄化している
2．自治会加入率が低い
3．個人情報の保護との兼ね合いで、見守り支援が難しい
4．地域協力者が限られており、人材が不足している
5．子どもから大人まで、全世代を巻き込んだ福祉教育が必要
6．地域のつながりを作ることができる環境美化活動に参加する住民が少ない
7．海抜が低く、災害時の避難体制に不安がある

具体的な取り組み

1．「相談できる」・「つながる」まちづくり

日頃から福祉情報を得る機会を持ち、地域で支援が必要な方を見つけた時は、民生委員・児童委員や自治会、相談機関などを紹介しましょう。

【5年後のめざす姿】 安心して相談でき、安心して相談にのれ、スムーズに相談機関へつながるまちになる

2．地域の特長を活かしたまちづくり

住民や企業、事業所は、環境美化などの地域活動へ積極的に参加しましょう。自分が住む地域の魅力や課題を発見し、住民みんなで共有できる機会をつくりましょう。

【5年後のめざす姿】 港川中学校区独自の地域課題解決に向けた仕組みが整ったまちになる

3．支え愛いのまちづくり

子どもの頃から地域とつながりが持てるよう、子どもたちと一緒に地域活動へ参加しましょう。「災害時等要援護者支援制度」について理解を深め、要援護者の見守り体制づくりに協力しましょう。日頃から災害に備え、避難訓練へ参加するなど、お互いに助け合える地域づくりに努めましょう。

【5年後のめざす姿】 日頃の見守りが強化され、多世代で協力し合うまちになる

《圏域の現状》

・人口	23,804 人
・世帯数	10,092 世帯
・0 歳～14 歳の割合	4,196 人　17.6%
・15 歳～64 歳の割合	15,273 人　64.2%
・65 歳以上の割合	4,335 人　18.2%
・民生委員・児童委員 定数／委嘱数	※平成 30 年9月 1 日現在 28 名／23 名（2） ※（ ）主任児童委員
・自治会数・加入率	11 自治会　22.0%

※平成 30 年9月末現在

《中学校区内に立地する主な社会資源》注）地域限定ではなく、市内外の方が利用する資源も掲載

★中学校区地域保健福祉センター

番号	名称	所在地	連絡先
1	港川中学校区　地域保健福祉センター	港川1-1-1（港川中学校内2階）	988-9355

▲小学校

番号	名称	所在地	連絡先
1	牧港小学校	牧港2-14-1	877-4142
2	港川小学校	城間4-37-1	879-1974

△中学校

番号	名称	所在地	連絡先
1	港川中学校	港川1-1-1	876-1323

◆自治会・集会所

番号	名称	所在地
1	伊祖自治会	伊祖3-35-6
2	牧港自治会	牧港1-4-6
3	港川自治会	港川326
4	緑ヶ丘自治会	港川1-6-8
5	浦城自治会	城間4-9-8
6	牧港ハイツ自治会	牧港3-17-13
7	港川崎原自治会	字港川577-4
8	上野自治会	牧港5-19-2
9	マチナトタウン自治会	牧港4-1-15
10	浦添市街地住宅自治会	牧港1-59-1
11	県営港川団地自治会	港川(字)458-1

☆地域包括支援センター

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦添市地域包括支援センターみなとん	伊祖4-16-1　アルカディアビル6階	876-3710

◇地域子育て支援拠点事業

番号	名称	所在地
1	子育て支援センター　ほるとの家	牧港1-64-6　ほるとのき保育園3階
2	リーヴルドンファン　カフェ	港川2-21-1　ルーブル保育園内

○児童厚生施設（児童センター）

番号	名称	所在地	連絡先
1	若草児童センター	伊祖3-44-1	877-0047
2	まちなと児童センター	牧港2-38-2	873-1898

■港川中学校区地域福祉活動計画【2019 年～2023 年】

港川中学校区コミュニティづくり推進委員会で出た課題

◎災害（地震・津波）時等の地域防災力
◎地域住民の情報把握不足
◎PTA 活動と地域活動の連動
◎地域内人材の活用

(1)学校も自治会も地域の仲間
・中学校内配置の地域保健福祉センターの特徴を活かした連携の仕組みづくり。
・学校、自治会が相互に高め合う意識の向上。総合学習等協働活動の継続、推進。

(2)顔の見える関係で子どもも大人も成長できるまちづくり
・各イベントの連動、各機関の連動による多世代交流の仕組みづくり。
・自治会非加入世帯を含めた地域住民への情報提供（広報）と情報把握。

(3)地域のパワーを活用した、災害に適応できるまちづくり
・中学校区を意識した防災対応、自治会や地域に応じた助け合いの仕組みづくり。
・連動的、継続的な事業運営による人材育成とつながりづくり。

※第五次浦添市地域福祉活動計画「てだこハートフルプラン」24ページ、25ページより抜粋

	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	1 年目
	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年
(1)学校も自治会も地域の仲間	中学校区という小地域に視点を置いたボランティア活動や地域福祉活動を行う 1 泊 2 日の「ボラんちゅキャンプ」を中高生対象に実施		各自治会地域イベント（夏祭り・ラジオ体操等）、各機関でのボランティア呼びかけ		港川中学校区地域福祉活動計画【2019 年～2023 年】
	港川小学校「総合学習」等地域自治会や事業所と連携した取り組み		港川中学校全校生徒へボランティアカード配布	第 6 回港川中学校区「ボラんちゅキャンプ」実行委員会立ち上げ	
(2)顔の見える関係で子どもも大人も成長できるまちづくり	各自治会ふれあいサロン事業に関する講師調整、情報提供。継続的なふれあいサロンの		地域、関係機関と連携した栄養教室等の展開		
	地域福祉協力員協力のもと、福祉マガジンラックを港川中学校区内 7 か所に設置		地域福祉協力員が現在気になっているテーマ、地域課題に沿った講座の実施		
	地域相談窓口の実施	ボランティアセンターと協力し、福祉教育の推進		港川中学校各学年へボランティア掲示板設置。給食時間時の放送にてボランティアの呼びかけ。	
(3)地域のパワーを活用した、災害に適応できるまちづくり	全自治会地域支援会議実施	第 4 民生委員・児童委員協議会が実施した防災訓練への協力。当日の防災訓練に向け、港川中学校生徒約 30 名を対象に福祉教育を含む事前学習を計 4 回実施。	第 4 民生委員・児童委員協議会と合同で「災害時等要援護者支援制度」の研修を実施		
			自治会非加入のマンション管理組合等へ校区センターの広報・支援連携		
			「災害時等要援護者支援制度」登録者の地域ネットワーク台帳作成強化		

5 浦西中学校区

テーマ

「ちむぐくる（肝心）合わせてみんなでゆいまーる」

地域課題

1．個人情報の保護との兼ね合いで、見守り支援が難しい
2．災害時等要援護者に対する支援体制が弱い
3．子どもも大人も通える場が少ない
4．大人への相談支援体制が弱い
5．自治会加入率の低下
6．若い世代の担い手不足

具体的な取り組み

1．地域の和、共に助け合うまちづくり

普段から地域に関心を持ち、隣近所で声かけやあいさつをしましょう。隣近所で何らかの異変に気づいたら、民生委員・児童委員、自治会、相談機関へ相談しましょう。支援の必要な方に対して、普段から気にかけ、見守り体制づくりに協力しましょう。

【5年後のめざす姿】 隣近所が声をかけ合い、気にかけ合うことで、共に助け合うまちになる

2．子どもから大人まで顔の見える「絆」づくり

地域で行われているふれあいサロンなどの地域活動に参加し、顔と顔の見える関係をつくりましょう。地域の誰もが参加できる居場所づくりに参加、協力しましょう。

【5年後のめざす姿】 子どもも大人も集える場所があり、絆が生まれるまちになる

3．住民一人ひとりのパワーを活かしたまちづくり

趣味や特技など、地域住民一人ひとり自分ができることを活かし、地域づくりに携わりましょう。

【5年後のめざす姿】 お互いに助け合い、誰もが活躍できるまちになる

《圏域の現状》

・人口	14,419 人
・世帯数	5,885 世帯
・0 歳～14 歳の割合	2,814 人　19.5%
・15 歳～64 歳の割合	9,181 人　63.7%
・65 歳以上の割合	2,424 人　16.8%
・民生委員・児童委員 定数／委嘱数	※平成 30 年9月 1 日現在 16 名／13 名（1） ※（ ）主任児童委員
・自治会数・加入率	8 自治会　26.7%

※平成 30 年9月末現在

《中学校区内に立地する主な社会資源》注）地域限定ではなく、市内外の方が利用する資源も掲載

★中学校区地域保健福祉センター

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦西中学校区　地域保健福祉センター	西原4-11-8(浦添市かりゆしセンター2階)	871－3140

■公的施設

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦添市中央公民館分館	牧港3-40-6	879-6640
2	浦添市かりゆしセンター	西原4-11-8	871-1616

▲小学校

番号	名称	所在地	連絡先
1	当山小学校	当山2-34-1	877-7595

△中学校

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦西中学校	当山3-1-1	879-3236

◆自治会・集会所

番号	名称	所在地
1	西原一区・西原二区	西原4-11-8
2	広栄自治会	西原3-8-2
3	浦西自治会	西原6-22-1
4	安川自治会	牧港3-30-8
5	当山ハイツ自治会	当山2-19-15
6	陽迎橋自治会	西原5-12-6-103
7	当山自治会	当山2-37-6

☆地域包括支援センター

番号	名称	所在地	連絡先
1	浦添市地域包括支援センター ゆいまぁる	西原2-3-7　1階	917-5320

◇地域子育て支援拠点事業

番号	名称	所在地
1	つどいの広場　にこにこ	西原4-9-1　西原児童センター2階

○児童厚生施設（児童センター）

番号	名称	所在地	連絡先
1	西原児童センター	西原4-9-1	878-1766

～浦西中学校区テーマ～

ちむぐくる（肝心）

合わせてみんなで

ゆいまーる

地域から出た浦西中学校区の課題

1. 個人情報の保護との兼ね合いで、見守り支援が難しい
2. 災害時等要援護者に対する支援体制が弱い
3. 子どもも大人も通える場が少ない
4. 大人への相談支援体制が弱い
5. 自治会加入率の低下
6. 若い世代の担い手不足

（1） 地域の和、共に助け合うまちづくり

（2） 子どもから大人まで顔の見える「絆」づくり

（3） 住民一人ひとりのパワーを活かしたまちづくり

	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5年目
	2019 年度	2020 年度	2021年度	2022 年度	2023 年度
地域の和、共に助け合うまちづくり	① 地域、教育、福祉、医療、企業等と連携した地域支援活動の推進 ② 住民が主体となった行政区コミュニティづくり推進委員会（支援会議）の実施 ③ 災害時要援護者の個別避難計画策定と、地域ネットワークの構築				隣近所が声をかけ合い、気にかけ合うことで、共に助け合うまちになる
子どもから大人まで顔の見える「絆」づくり	① 浦西中学校区子ども支援部会の充実、発展 ② 浦西中学校区おとな支援部会（協議体）への参加、協力 ③ 居場所と連携した支援体制の強化、新たな居場所の立ち上げ支援 ④ 必要に応じた子どもも大人も集える居場所づくり（自助グループ、子育てサロン等）				子どもも大人も集える場所があり、絆が生まれるまちになる
住民一人ひとりのパワーを活かしたまちづくり	① 介護事業所への訪問や認知症劇による、地域と連携した福祉教育 ② 地域ニーズに応じたボランティアコーディネート ③ 住民が活躍できる機会や場所を積極的に作る				お互いに助け合い、誰もが活躍できるまちになる

浦西中学校区コミュニティづくり推進委員会で出た課題

◎地域のつながりの希薄化と自治会関係者の高齢化
◎若年、中年の地域活動離れ（小さい頃からの意識づけが必要）
◎困っている人は誰なのかがわからない、どのような支援をしたらいいかわからない
◎要援護者の人数は増えるが、支援者がなかなか増えていかない
◎困っている地域住民一人ひとりに応じた、柔軟な支援の工夫が必要になってくる
◎子どもたちの居場所づくり（大人と子どもが声かけしあえるまちにしたい）

※第五次浦添市地域福祉活動計画「てだこハートフルプラン」26ページ、27ページより抜粋

(1)年齢や性別・障がいに関係なく笑顔でくらせるやさしいまちづくり
・地域で困っている方々への理解を深める
・自分にできることは何か考える機会をもつ

(2)子どもから大人まで声掛けあえる「絆」を感じるまちづくり
・必要性に応じた居場所づくりやグループづくり
・地域課題に応じた取組をしながら交流していく

(3)自分の地域に誇りをもてる人材をていねいに育てるまちづくり
・各世代への地域福祉活動の参加促進
・継続した活動が行えるサポート体制を整える

	1年目	2年目	3年目	4年目	1年目
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
(1)年齢や性別・障がいに関係なく笑顔でくらせる優しいまちづくり	認知症サポーター養成講座（自治会・企業・学校）				
	ボランティアセンターと連携し小学校で福祉体験の実施		地域の子どもたちへボランティアカード配布		
		難病当事者による福祉講話	浦西中学校「朝のミニ講話」時の認知症劇の実施・講師調整		
(2)子どもから大人まで声掛けあえる「絆」を感じるまちづくり	各自治会ふれあいサロン事業に関する講師調整、情報提供。継続的なふれあいサロン実施				
	各自治会地域支援会議実施		おとな支援部会準備委員会設置	おとな支援部会（協議体）参加・協力	
				ふれあい100円食堂オープン事業	
	子ども支援部会設置・運営				
(3)自分の地域に誇りをもてる人材をていねいに育てるまちづくり	地域のニーズに応じたボランティアの呼びかけ・つなぎ				
			ボランティアセンターと協力した福祉教育の推進		
	地域相談窓口の実施				
				「災害時等要援護者支援制度」登録者のネットワーク台帳作成強化	
	地域の子どもたちと介護事業所や高齢者宅へ訪問				

浦西中学校区地域福祉活動計画【2019年～2023年】